

平成30年6月分（6件）

【観光&地域活性化】

内容	八犬伝を基に各種の八犬をテーマにそって犬の権威ある人によるコンテスト大会を城祭り以外で開催し、城祭りに参加できるようにする。此により、城祭りだけではなく観光項目が増えると思います。 <p style="text-align: right;">【H30.6.8 受理】</p>
回答	館山市では、南総里見八犬伝にちなみ、伏姫、八犬士、武将らに扮した武者行列や戦国合戦絵巻、里見芸能祭、ご当地グルメ・物産まつり等を行う「南総里見まつり」をはじめ、水中花火やスターメインなど約1万発の花火が打ち上げられる「館山湾花火大会」、海辺の環境を活用した「たてやま海・まちフェスタ」や「オーシャンフェスタ館山」、参加者が1万人を超える「館山若潮マラソン大会」など、様々なイベントを実施しております。 しかし、現在ではただイベントを仕掛けるだけでなく、その質の高さも求められるようになってきており、私どもも試行錯誤を繰り返している状況です。 今回のアイデアも参考にさせて頂き、実行委員会等関係機関との協議を重ねながら、更なる観光による地域活性化を図ってまいります。 <p style="text-align: right;">【H30.6.13 回答】</p>

【公衆トイレについて】

内容	館山市内に、オストメイト専用の公衆トイレが設置されているがどうか、場所などもわかれば、回答くださいますようお願いいたします。 <p style="text-align: right;">【H30.6.11 受理】</p>
回答	館山市内の「オストメイト対応トイレ」の設置場所についてお答えいたします。 ◎館山市内のオストメイト対応トイレ 1 JR 館山駅東口トイレ（館山市北条1887番地） 2 城山公園駐車場内公衆トイレ（館山市館山362番地） 3 伊戸だいぼ工房内観光公衆トイレ（館山市伊戸963番地の1） 4 “渚の駅”たてやま・渚の駅博物館トイレ 5 館山市役所（館山市北条1145番地の1） 6 館山市コミュニティセンター（館山市北条740番地の1） ※公衆トイレ以外 ・イオンタウン館山（館山市八幡545番地の1） ・千葉県南総文化ホール（館山市北条740番地の1） その他にお問い合わせ等がありましたら、館山市健康福祉部社会福祉課障害福祉係（0470-22-3492）へお問い合わせください。 <p style="text-align: right;">【H30.6.11 回答】</p>

【祭礼の日程】

内容	平群のお祭りは、珍しいかつぎ屋台で、規模は小さいもののすばらしいお祭りです。 去年、今年と南総里見祭りと日程がかぶり、人手の足りない思いを平群の方たちは感じていると感じます。 10月は、お祭りが各地で行われていますし、難しい問題だとは思いますが、私と私の友達の切実な気持ちをお伝えさせていただきます。
----	--

	【H30. 6. 20 受理】
回答	<p>館山市をはじめ安房地域では、夏から秋にかけて、平群地区祭礼をはじめ、安房地域最大の安房国司祭やわたんまちや、館山のまつり、那古祭礼、船形祭礼、安房神社例大祭など多くの祭りが、地域の方々に大切に守られながら祭り文化として行われています。</p> <p>また、このような中、多くの地区で、深刻な人手不足に悩まされているということも認識しています。</p> <p>「南総里見まつり」ですが、館山市観光協会はじめ関係団体で構成する「南総里見まつり実行委員会」において開催日含め実施内容について協議し、決定をしております。</p> <p>いただいたご意見につきましては、主催者である「南総里見まつり実行委員会」に伝え、今後の検討課題とさせていただきます。</p>
	【H30. 6. 25 回答】

【育児】

内容	<p>子供出産3人目になります。</p> <p>鴨川市はお祝い金30万円が出ますが、館山市はまったくありません。</p>
	【H30. 6. 21 受理】
回答	<p>全国的な人口減少の流れの中で、少子化対策は最重要課題であり、また、子育てにおいて経済的な負担が大きな壁となっていることも十分認識しております。</p> <p>そうしたことから、一部の市町村で多子世帯を対象に出産祝い金など支給していることも承知しています。</p> <p>金品による一時的な経済面における支援の必要性も理解していますが、子育て期における継続的な支援がより重要であると館山市では考えています。</p> <p>その上で、子育て支援の拠点として「館山市元気な広場」の設置や、子育て世帯のニーズに合わせ必要な情報の提供や相談援助を行う「子育てコンシェルジュ」の配置、妊娠・出産・育児を記録と情報でサポートする「母子健康手帳アプリ」の導入、放課後児童の安全・安心な居場所となる公設学童クラブの運営（3兄弟で利用の場合、長兄は利用料無料）など様々な子育て支援策を実施しています。</p> <p>なかでも、「館山市元気な広場」は、他に類を見ない広さの屋根つき公園として、子育て親子の交流、子育て等に関する相談や援助、子育て関連情報の提供を実施しており、施設はもちろん、施設で実施する各種行事についても原則無料で利用できるなど、保護者の子育てに寄り添う形で支援を行なっています。</p> <p>館山市の現状を申し上げますと、高等学校卒業後の進学や就職等に伴う若者の転出の多さが人口減少の大きな要因となっており、結婚・出産適齢期の年代層の減少は、人口や出生数の減少につながることから、切実な課題となっています。</p> <p>少子化対策についての「特効薬」というものはありませんが、中長期的な人口減少が避けられない状況の中で、館山市の将来を担う若者、子育て世代の方々がやりがいのある仕事に就き、地域に定着していただける環境、また、出会いから結婚・出産・子育てまでの希望をかなえるための環境の整備がより一層重要なものとなってまいります。</p> <p>館山市としましては、引き続き、若者の出会いから子育て支援までの「切れ目のない」施策の充実を図るとともに、魅力ある就業の場の確保に努め、大学卒業等に伴うUターン等を促進し、併せて、子育てをしやすいまちづくりを推進していきたいと考えています。</p> <p>今後も皆さんの子育てを応援してまいります。</p>
	【H30. 6. 27 回答】

【サポステ設置】

内容	<p>木更津市には不登校・ひきこもり・ニートの人達の就労を支援する「地域若者サポートステーション（サポステ）」があります。不登校やひきこもりの親が集まり意見交換をする「親の会」に何度か参加しています。家族では気がつかない本人のいい所も気づくことができ、最終的には本人も就労に前向きになり、今では楽しそうにサポステを利用しています。</p> <p>安房地域には50代でひきこもっている人がいると聞きました。他地域とのアクセスがしづらいので一度ひきこもってしまうと余計に脱出が難しいと思います。サポステではパソコンを使った仕事体験やボランティアとして図書館で働くなど、就労に関するサポートも色々あります。</p> <p>また安房地域から木更津のサポステを利用しに行っている人もおり、館山にサポステを作ってほしいという要望も多いと聞きました。高齢者が多い地域なので福祉のほうに力を入れるのもいいですが、若者にも目を向けてください。館山にサポステがあれば近隣からも通えるので利用もしやすいと思います。</p> <p>困っている・苦しんでいる若者にも救いの手をさしのべてください。</p> <p style="text-align: right;">【H30.6.25 受理】</p>
回答	<p>「ちば南部地域若者サポートステーション（以下サポステ）」を利用するため、館山から木更津まで通われているのは大変なことだと認識しておりますと共に、サポステがご家族様にとっての一助になっていることを大変嬉しく思います。</p> <p>ご指摘のとおり、安房地域にサポステは無く、木更津のサポステが安房地域をカバーしているのが現状です。</p> <p>そのためサポステでは、施設から離れた地域にお住いの利用者のために、出前講座・個別相談を定期的に開催している他、今年度から在宅でもパソコンやスマートフォンを利用してサポステと繋がるのが可能な“スカイプ面談”を開始するなど、遠方の地域に対するサービスの幅を広げています。</p> <p>しかしながら、事務所の所在地と同一のサービスを受けられるまでには至っていないことも事実です。</p> <p>館山市や他の近隣自治体もサポステの必要性を認識していたことから、厚生労働省に対して設置要望を行った結果、館山での設置は叶いませんでしたが、平成25年4月に木更津に設置されることとなりました。</p> <p>今回要望がありましたことを改めて関係機関に伝えさせていただきます。</p> <p>サポステは厚生労働省が委託したNPO法人や株式会社が実施している施設であり、ただちに館山市にサポステが設置されることは難しいかもしれませんが、今後、出前講座の回数を増やしたり、受けられるサービスの内容をさらに充実させる等、少しずつ利用環境が改善される可能性はあるのではないかと感じています。</p> <p>そのためには、利用者のニーズをサポステが把握できるよう、利用者の声を直接お伝えいただくことも大切であると思います。</p> <p>館山市は今後も就労支援に対してサポステとの連携を図りたいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">【H30.7.5 回答】</p>

【市内の交通網】

内容	<p>以前、幕張の会社に勤務していた時に「館山って観光にはいいけど住みたくはない」と言われました。私自身、循環バスルート少なさ、バス・電車の本数の少なさに住みにくいと感じているので「そんなことないよ。住みやすいよ」とは言えませんでした。</p> <p>また、館山で勤務していて社内に20～40代の女性10名ほどの中、Suicaを持っているのは私1人でした。「木更津まで電車で行く」と言ったら「電車ないじゃん」</p>
-----------	--

	<p>と笑われたこともあり、この地域の人々には自家用車の存在が本当に大きいんだなと感じました。</p> <p>このままでは市内バス・電車の運営がなくなるのではないかと心配です。市民バスの導入に加え、企業にも公共交通機関を利用した通勤を呼びかけてもらう必要もあると思います。移住者を増やすには市内の交通便は重要な問題であり、県・国の支援がないと運営ができないほど悪化してしまった交通事情を回復させるには“脱・自家用車”くらいの勢いでないと、館山市の公共交通機関の復活はないと思います。</p> <p style="text-align: right;">【H30.6.25 受理】</p>
<p>回答</p>	<p>市内の公共交通（バス、タクシー、JR内房線）については、人口減少や少子高齢化に直面し、利用者数が減少傾向にあるため、大変厳しい状況におかれています。館山市としましても、市内を走る3つの路線バスに対し、昨年度は約1,600万円の補助金を支出しており、その金額は年々増加傾向にあります。</p> <p>そのため、おっしゃるとおり、館山市内で自動車に頼らず移動できる手段が限られてしまっているという現状です。実際、観光客等からも「移動の足が無く不便」といった声が聞かれ、公共交通は単に高齢者等「交通弱者」と呼ばれる人だけの問題ではないということを痛感しています。</p> <p>そこで、館山市では、今年度から2年をかけ「館山市地域公共交通網形成計画」を策定することとしました。将来にわたり持続可能な公共交通網を作るため、市民や事業者、路線バス利用者、観光客、高校生、移住者などを対象に、しっかりとした調査を実施し、需要を把握した上で、利便性の高い交通網としていくための計画を策定していきます。</p> <p style="text-align: right;">【H30.7.4 回答】</p>